

5 ボタンワイヤレスレーザーマウス M-D21DL シリーズ ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコム 5 ボタンワイヤレスレーザーマウス「M-D21DL」シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは「M-D21DL」シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。
※このマニュアルでは一部の表記を除いて「M-D21DL」シリーズを「本製品」と表記しています。

安全にお使いいただくために

- 絵表示の意味
- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 - 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- ⊘ 「してはいけないこと」を示します。
- ❗ 「しなければならないこと」を示します。
- ⓘ 「注意していただきたいこと」を記載しています。「お読みいただきたいこと」や「参考していただきたいこと」を記載しています。
- 🔧 「知っていると便利なこと」を記載しています。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

- 警告**
 - 本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レーザーユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 - 本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、火傷しないように発熱していないことを十分確認した後、レーザーユニットをパソコンから取り外し、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- ⓘ 本製品および電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

- 電池について
- 注意**
 - 本製品には単4形アルカリ乾電池、単4形マンガン乾電池、または単4形ニッケル水素2次電池を使用してください。
 - 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

- お手入れのしかた
- 本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。
- ⓘ シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は2.4GHz帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式にはFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。
2.4GHz帯は、医療機器やBluetooth、IEEE802.11b/11g/11n規格の無線LAN機器などでも使用されています。
●本製品を使用する前に、近くで「他の無線局[®]」が運用されていないか確認してください。
●万一、本製品と「他の無線局[®]」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
※「他の無線局」とは、本製品と同じ2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

- 警告**
 - 重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
 - 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
 - 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式マウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にマウス本体の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします
 - ※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

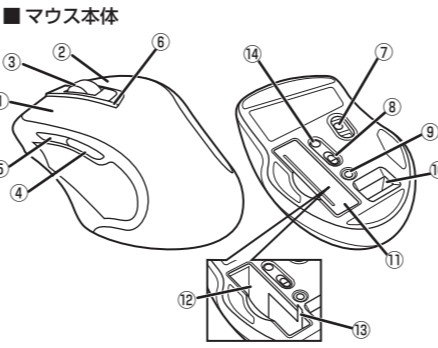
レーザーマウスにおける注意事項

- 本製品は、JIS C6802 及び国際標準化機関 IEC60825-1 に基づいた CLASS1 に準拠し、安全性を確保しておりますが、下記事項に十分注意した上でご使用下さい。
- 顕微鏡・虫眼鏡等の光学的手段を用いてレーザー光を観察したり、レーザーを肉眼で長時間覗き込むことは、目に悪影響を及ぼす可能性があるため絶対におやめください。(レーザー光には肉眼で見えないものもあります。)
 - マウスの裏面を人の目に向ける事は危険ですのでおやめください。
 - レーザーセンサーはガラスや鏡の表面では正常に動作しない場合があります。
 - パソコン用マウス以外の用途に使用しないでください。
 - 範囲を超えた気温に製品がさらされる場合は、パソコンの電源を切り、気温が範囲内になるまで製品をお使いにならないでください。
 - 正常に動作しない場合は、パソコンの電源を切り、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

パッケージ内容の確認

- 本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- マウス本体.....1個
 - レーザーユニット.....1個
 - 動作確認用単4形アルカリ乾電池.....2本
 - ユーザーズマニュアル(このマニュアルです).....1部

各部の名称とはたらき



- マウス本体
- レーザーユニット
- ① 左ボタン
パソコンの操作の左クリックに使います。
- ② 右ボタン
パソコンの操作の右クリックに使います。
- ③ ホイール
指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。
- ④ 「戻る」ボタン / ⑤ 「進む」ボタン
「進む」ボタン
Webブラウザで「進む」の操作ができます。
「戻る」ボタン
Webブラウザで「戻る」の操作ができます
- 「進む」ボタン
次のページに進みます。
- 「戻る」ボタン
前のページに戻ります。

Macintoshで「進む」ボタン / 「戻る」ボタンを使用するためには、弊社Webサイトよりエレコムマウスアシスタント2 Mac OS X版を入手して、インストールする必要があります。
👉「ボタン割り当て機能や高速スクロールを利用する」(裏面)

- ⑥ 電池残量表示ランプ / カウント切替表示ランプ
 - 電池の交換時期をお知らせします。
 - ※電源を入れたとき、電池残量が十分あれば一定時間赤く点灯します。使用中に電池残量が少なくなると、一定時間赤く点滅します。
 - カウント数(マウスカーソルの速度)を切り替えるときに点滅します。
 - ※1600カウント→1600カウント 切り替え時 2回点滅 1600カウント→800カウント 切り替え時 1回点滅
- ⑦ レーザーセンサー
マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。
※センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。非可視光線のため肉眼では見えません。
- ⑧ 電源スイッチ
マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)します。
- ⑨ カウント切替ボタン
ボタンを押すたびに、カウント数(マウスカーソルの速度)を800/1600の2段階で切り替えができます。
- ⑩ レシーバユニット収納部
レシーバユニットを収納します。
- ⑪ 電池カバー
このカバーを取り外して、電池を入れます。
- ⑫ 電池収納部
電池を収納します。
- ⑬ 電池取り出しシート
電池を電池収納部から取り出すときに使います。
- ⑭ メンテナンススイッチ
工場出荷用のため、使用できません。
- ⑮ USBコネクタ(オス)
パソコンのUSBポートに接続します。

使用時の準備

- 電池を入れる / 交換する
本製品を使用するときは、単4形電池2本をマウス本体に入れます。
- ① 電池カバーを取り外します。
- ② 電池を入れます。
- ③ 電池カバーを元通りに取り付けます。
- 電池を交換するときは
- ① 電池カバーを取り外します。
- ② 電池取り出しシートを使って電池を取り出します。
- ③ 電池を入れます。
- ④ 電池カバーを元通りに取り付けます。

- 電池を交換するときは
- ① 電池カバーを取り外します。
- ② 電池取り出しシートを使って電池を取り出します。
- ③ 電池を入れます。
- ④ 電池カバーを元通りに取り付けます。

- マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)する
- マウス本体の電源を入れる
本製品を使用するときは、マウス本体の電源を入れます。
電源スイッチをONの位置にスライドさせます。電池残量表示ランプが、一定時間赤色に点灯します。
※電池残量が少ないときは、一定時間赤色に点滅します。
- マウス本体の電源を切る
本製品を使用しないときは、マウス本体の電源を切ることで、電池を節約できます。
電源スイッチをOFFの位置にスライドさせます。
- スリープ状態から復帰する
マウスの右ボタンをクリックします。

- レシーバユニットを収納する / 取り出す
- レシーバユニットを収納する
- ① レシーバユニットをレシーバユニット収納部に収納します。
- レシーバユニットを取り出す
- ① レシーバユニットをレシーバユニット収納部から取り出します。

Windows® で使用する

- Step1 USBポートを確認する
お使いのパソコンのUSBポートを確認してください。
- ① USBポートを確認する
- ② レシーバユニットを取り付ける

- Step2 レシーバユニットを取り付ける
- ① パソコンを起動します。
- ② レシーバユニットをパソコンのUSBポートに挿入します。
- ③ Windows標準マウスドライバが自動的にインストールされます。

Step3 動作を確認する

- Windows®の「Internet Explorer」でマウスの上下スクロールが正常に動作しているかを確認します。
- 「スタート」ボタンから[すべてのプログラム]→「Internet Explorer」の順にクリックします。「Internet Explorer」が起動します。
 - Internet Explorerでお好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下のスクロールバーが表示されるように変更します。
※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。
 - マウスのホイールを前後に動かします。指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。
 - スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。
 - 表示されているページ上のいずれかのリンクをクリックし、次のページに進みます。
 - 「戻る」ボタンを押すと前のページに戻り、「進む」ボタンを押すと次のページに進めば正常です。
 - アプリケーションによっては、「進む」ボタン / 「戻る」ボタンを操作しても動作しない場合があります。

Mac OS X で使用する

- Step1 USBポートを確認する
お使いのパソコンのUSBポートを確認してください。
- ① USBポートを確認する
- ② レシーバユニットを取り付ける

- Step2 レシーバユニットを取り付ける
- ① パソコンを起動します。
- ② レシーバユニットをMacintoshのUSBポートに挿入します。
- ③ マウスドライバが自動的にインストールされます。

Step3 動作を確認する

- Mac OS Xに付属の「Safari」でマウスの上下のスクロールが正常に動作しているかを確認します。
- Dockに登録されている「Safari」のアイコンをクリックします。「Safari」が起動します。
 - SafariがDockに登録されていない場合は、「アプリケーション」フォルダ内の「Safari」をダブルクリックします。
 - Safariでお好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下のスクロールバーが表示されるように変更します。
※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。
 - マウスのホイールを前後に動かします。指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。
 - スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。
 - Macintoshで「進む」ボタン / 「戻る」ボタンを使用するには弊社Webサイトよりエレコムマウスアシスタント2 Mac OS X版を入手してインストールする必要があります。
👉裏面の「ボタン割り当て機能や高速スクロールを利用する」に進みください。
 - Mac OS X 10.7から上下スクロール方向が従来と逆になりました。マウス設定画面で変更が可能です。

